

令和6年度 南アルプス市立櫛形中学校 自己評価書

令和7年12月26日

校長	笹本忠彦	記入責任者	教頭 横小路 亮
<p>校訓</p> <p>高登彼岸</p> <p>～高い理想の境地をめざし、その目的地に 登りつくよう懸命の努力を惜しむな～</p> <p>学校教育目標</p> <p>○確かな学力 ○豊かな心 ○健やかな体</p>			
<p>I 評価方法</p>			
<p>本校は、令和4年度より小中一貫校としてスタートした。学校評価については今年度から、小中で回数及び実施時期の足並みを揃えることとし、年1回2学期末に実施した。</p> <p>自己評価の資料として12月、教職員・生徒・保護者の3者に対して、アンケート形式によりWEB上で回答を得た。質問に対しての回答選択肢は4段階になっている。</p> <p>A：とても、よく～している B：だいたい～している C：あまり～していない D：～していない</p> <p>A、Bは肯定的傾向のプラス評価であり、C、Dは否定的傾向のマイナス評価である。A、Bの区別とC、Dの区別は、回答者の回答時の状況等により変わることもあるため、厳密に区別するのではなく、プラス傾向、マイナス傾向とし、全体の傾向を評価した。</p> <p>具体的には、A・B・C・Dの選択肢を点数化した。A=4、B=3、C=2、D=1として集計し、回答者数で割って平均点数を求めた。平均点数は次のような意味を持つ。</p> <p>○全体にプラス評価（A・B）が多ければ、平均点は2.5点以上になり4に近づいていく。 ○全体にマイナス評価（C・D）が多ければ、平均点は2.5未満になり1に近づいていく。</p> <p>なお、保護者のアンケート回答の選択肢として、E：わからない という選択肢があるが、これは点数には含めていない。</p>			

Ⅱ 全体評価

○教職員の自己評価、生徒アンケート、保護者アンケートのそれぞれの集計結果を見ると、いずれも昨年度と同等な結果となった。

- ・教職員自己評価結果では、23項目中21の質問項目において評価の平均が3.0を上回った。特に、③教職員間において報告・連絡・相談に努め協力的な取り組みをしている項目、⑫あなたは、児童理解のために、日頃から様々な方法でコミュニケーションを図っている項目、⑬あなたは、諸問題（いじめ・不登校等）の早期発見・早期対応に努めている項目、⑮あなたは、児童・生徒が進んであいさつするよう指導している項目については、100%プラス評価であった。このことから、教職員が、積極的に生徒とのコミュニケーションをとり状況を把握するように意識し、諸問題に対して連携し取り組んでいる様子が数値として表れている。
- ・生徒アンケートでは、21の質問項目中、平均点数化できる19項目のうち、17項目で評価の平均が3.0を上回る結果であった。特に、④わたしには、困ったことがあったら相談できる先生がいる項目の肯定的回答が83.3%であったことは、教職員自己評価結果と同様に、生徒と教職員の関係性が向上し、相談しやすい雰囲気表れているのではないかと考察できる。
- ・保護者アンケートでは、16の質問項目中、平均点数化できる14項目のうち、13項目で評価の平均が2.5を上回る結果であった。そのうち、肯定的な評価の平均が3.0と高い項目数は5項目となり、概ね肯定的な回答が多かった。

総括して、楡形中学校では学校教育目標の実現に向け、1人ひとりの教職員が、保護者の理解と協力の下、職務に真摯に向かいあい遂行してきたことで、学校教育活動全般において生徒に適切な指導が行われ、結果、生徒と保護者に肯定的に評価されていると考えられる。従って、本校の学校評価に係る総合的な評価は、PDCAサイクルが活かされた結果、良好な水準にあるといえる。

そのような中でも昨年度と比較したり、1つひとつの結果に目を向けてみたりすると、努力を要する項目がある。教職員、生徒、保護者のそれぞれのアンケートについて、次項で考察し課題を明らかにしていきたい。

Ⅲ アンケートごとの評価

教職員の自己評価アンケートについて

教職員の回答は平均の評価ポイントが2.5を下回るマイナス評価はなかったが、プラス評価の中でも評価の比較的低めな項目は以下の2つであった。

17「あなたは、学校の教育活動について、お便りやホームページを通して保護者や地域に広報していますか」

昨年度 平均点 3.0

今年度 平均点 2.9

18「あなたは、教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っていますか。」

昨年度 平均点 2.9

今年度 平均点 2.8

【考察】

17「あなたは、学校の教育活動について、お便りやホームページを通して保護者や地域に広報していますか」の項目について、特に学校だよりによる広報活動は町内会の組ごとに閲覧板方式により地域の方々にも閲覧してもらっているなど、昨年度と同様に行っているが、「意見欄」にあるように各教員が学校だよりや学年だよりを発行することで保護者や地域に広報しているという意識が薄い状況等もあり、数値として改善はされなかったと見られる。また、学級通信発行については、発行すること自体が目的にならないよう、職員が働き方を意識しつつ無理のない範囲で生徒や学校の様子を伝えていくことは、学校が家庭や地域から理解され協力をいただくために最重要なことである。今年度も「学校だより」については、生徒の様子を昨年以上に取り入れた内容で月複数回発行してきたり、学年だより、各種たよりもそれぞれの分掌から定期的に発行されたりと取り組んでいるが、内容をさらに充実させていく必要があるかと思う。

HPの活用・広報については、学校だよりが発行時に更新されている。また、「学校のひろば」コーナーを充実させ、必要な提出書類等がダウンロードできるような取り組みも検討していく。

18「地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っていますか」については、昨年度に引き続き地域人材の活用を行っている。具体的には、いきいき教育人材の活用、職業講話、芸術鑑賞教室、通訳などに地域の方を活用している。特に、職業講和では、今年度、南アルプス市商工会に講師の方々を紹介してもらい、地域に根差した職業人から話を聞くことで、将来、南アルプス市で働くことを考えるきっかけになった。また、家庭科教科において、地域稚拙を利用し保育実習を実施した。今後、各学年、各教科の計画に沿って、さらには次年度の計画作成時に、地域の教育力をより多く活用していくことを職員に周知していく。

生徒の評価アンケートについて

生徒の回答は平均の評価ポイントが2.5を下回るマイナス評価はなかったが、プラス評価の中でも評価の比較的低い項目は以下の3つであった。

11 「わたしは、授業中に自分の考えを伝えている」

昨年度 平均点 2.7

今年度 平均点 2.8

13 「わたしは、読書をしている」

昨年度 平均点 2.6

今年度 平均点 2.9

【考察・改善策】

11「わたしは、授業中に自分の考えを伝えている」の項目については、「いつも伝えている」「伝えている」と回答した生徒は、昨年度の57.4%から63.1%に増加したが、「伝えていない」というマイナス回答は昨年度8.6%から10.1%とわずかながら増加した。今年度は、昨年度同様に、校内研で積極的にICTを活用した授業と学びあいを取り入れた授業づくりを研究しているが、教員がさらに生徒の発言を引き出す授業づくりを継続していくことが必要である。また、教職員は小中一貫校の取組として行っているスリンプルプログラムの目的を理解し高い意識を持って取り組んでいるので、今後もスリンプルプログラムを取り入れた「くっしータイム」を継続しつつ、授業においても他と関わる機会を積極的に取り入れた授業づくりを工夫していくことが大切である。

13「わたしは、読書をしている」の項目については、「よく読んでいる」「読んでいる」と回答した生徒が昨年度は54.8%であったが、今年度は67.1%と増加した。教職員の85%が読書指導を積極的に行っていると回答しており、これまで以上に生徒が実感できる読書推進活動について委員会活動や読書週間を機能させ検討していく。また落ち着いた読書をする貴重な機会となる10分間の朝読書については、教職員もともに読書をするなど範を示しながら継続をしていく。

保護者の評価アンケートについて

全体的に保護者の回答については肯定的な評価が高い中で、平均の評価ポイントが2.5を下回る評価項目が1つあり、以下の質問項目において考察を述べる。

9 「学校は、保護者・地域住民からの声に耳を傾けていますか」

昨年度 平均点 2.4

今年度 平均点 2.3

【考察・改善策】

これに関してアンケートの詳細を見ると「とてもそう思う」の割合が昨年度の9.6%から8.6%に、「そう思う」の割合が61.4%から62.8%になり、「わからない」と回答した割合が22.0%から23.1%になった。学校は、年度初めに家庭訪問、1、2学期末それぞれに三者懇談、学期ごとの学校開放及び授業参観、学園祭等の行事参観を設定しており、生徒の欠席連絡においては電話やグーグルフォームに状況の詳細記入も可能となっている。アンケート結果から見ると、保護者が回答するにあたり学校の様子を見ることはできるが意見や感想をどこでどのように伝えたらよいのかわからない状況があると推測される。今後、さらに学校がより良い在り方を推進していくためにも、ICTを活用するとともに、三者懇談等で保護者の意見・感想等をいただく場の大切にしつつ、生徒・保護者・職員のためになる学校運営をしていく。